

西熊山~天狗塚ハと
続く美しい後継

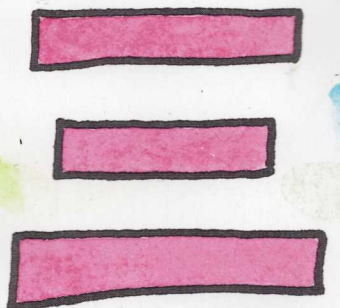
クマザリが葉が
光りながら風に
裏返るのを
まじろ波みている
貝と見せよう。

三嶺山頂は四国中の
山が全部見える大展望

標高改訂 国土地理院が全国の三角点や
日本の主な山岳の標高などに
ついて補足調査が行われ、1.893.4mから
1.893.6mに標高成果が改訂されたことに
より、山頂標高も1.893mから1.894mに
リニューアルされた。



NONOYA 作
2021.10.15



嶺

大崩壊
2004年豪雨で
1.6kmにわたる
土石流が発生
自然林を大きく
削った。

ママザク

歩道はかなり
荒れている

フスボリ谷

さおりが原

夜空にも三嶺がある。
1983年11月28日、関勉さんが
芸西村で発見して「小笠原山」
「三嶺(3262Miuue)」と名付
けられている。

傾斜が急になってくる。
東に剣山、次郎峯
西に西熊山、天狗塚
南から南西には白髪山、
細附森、高知の山々が
幾重にも重なる。
足元のはるか下に
フスボリ谷と目視しながら
岩壁をよじ登る。

三嶺の上に広がる濃く蒼い空を
見上げると、空と宇宙の境界は
どこにあるのたさうかとか
いふこともふと考える

「さおりが原」は高知大学の職員が
名付けたが、それより「又原谷のナロ」と
いう、れまじりな名前があった。(湿潤な谷の平地の意味)

昭和38年発行の「ものバ村史」によると
三嶺は三つのうねりの集まりで、土地
の人は「ミウネ」と呼ぶ。「サンレイ」は
登山者の呼ぶ名である。四国一の
展望を誇る土阿国境の盟主であり
頂上に立てば晴天の日には遠く中国
地方の山々を望むことができる。
国バス最終駅 影から登り6時間
下り5時間の行程である。と記されて
いる。

また、三嶺は東、西、南の三つの頭首は尾根を
もつことから「ミムネ」とも呼ばれ、「三嶺」
は旧陸軍陸地測量部が定めた漢字と
考えられている。

三嶺を登る途中
やがてコウゾウの長年の
活動による植生の回復
と森林の再生が感じ
られる。

四ツ川屋谷
かつてコウゾウの樹皮が
採取されていた

遊覧小屋から望む三嶺
足元にワラ原が広がって
深い谷とぼんやりと正面
に伸びた森林風景が
100mで下のしめる!!

白髪山頂のすぐ北に大きな
岩の塊のテラスがある。
三嶺~西熊山~細附山展望。
溪谷から吹き上げる風も
あいまって、一日中、佇ん
でいたくなる誘惑に駆ら
れる。

白髪山から振り返れば、丹地山~勘定山~
そして大柄にかけて馬の背状に山が連なり
この山、並みを挟んで、横山川と上葦生川が
流れ、79%の集落が開けたたくまの
人々が生活と営んでいた。
今では人口減少がいろいろしく進行して
いるが、明治末期~戦前にかけては4,000を
超える人々が、火焼田や炭焼畑に象徴さ
れる山と共存し、自然の生産力を活かして
一方では国有林の植林や伐採などに
従事し、生計を立て暮らしていた。

岡の岡から別府にかけての民有地の山の
9割で火焼田農業が行われていたという。
ソバや小豆、大豆、大根、ヒエ、アヲを栽培。
昔は葦生、横山の豆腐は島豆腐と呼ばれ
島で練って売ると堅かったといわれている。

急斜面
坂道は急な
急になる

白髪分岐
御留山や高知平野
方面がよく見える

奥物部の森林は良質のヤキ天然木を産出
することから藩政期、土佐藩は御留山の中
でも最も優れた「御留山」または「土佐御留山」に
指定していた。「西熊山」は「土佐御留山」に
指定されていた。

白髪山頂のすぐ北に大きな
岩の塊のテラスがある。
三嶺~西熊山~細附山展望。
溪谷から吹き上げる風も
あいまって、一日中、佇ん
でいたくなる誘惑に駆ら
れる。

白髪山から剣山に至る長大な尾根の山道を開いた
人物は伊勢の守蔵(伊勢守左衛門)という。
熱心な剣山の信者で、明治初期、白髪山の
南麓から、一鉢一鉢おちながら、三年間か
けて道を開いたという。
中間点にあたる高嶺の岩屋は彼が泊りした
所で、「伊勢の岩屋」という名を残している。

樹林の中の
穏やかな
尾根道

白髪山
1770m

頂上直下は
やさしいワラ原

冷温帯の森林
ヤマザサ、シラカシ、
シラカシ

石山と奥の
登り

物部川流域の原頭部
ここから生まれた水は
めじろめじろ

白髪山は物部川
流域の真ん中に
あたる。

三嶺一帯はニホンジカ
による食害が最も激しい
エリア

物部村の人口は1931年で7,752人(3,760人
を占める)。別府西側の奥地まで人々の営みが
活発であった。
山荘や宿舎の半分以上が猿轡を持って
別荘や宿舎の半分以上が猿轡を持って
三ツツツは山と山と山と生きている。
当時の人間は動物にとりかかっていた
恐ろしい天敵であったにちがいない。

みやびの丘
剣山~次郎峯~白髪山~五
奥物部の山岳を見わたせる
大展望台。あまやがある。

YAMAPETE 2021.4.10
登山口: 白髪山-
ワラ原- 三嶺-
カヤハゲ- 白髪山
平和丸- 332と葦生-
みやびの丘- 登山口
13.4km 6.40

次世代の植樹や薪炭を食べる
のびる新緑が下層植生を喪失
するため落葉工や森林土壌が
谷や川に流出し、山地崩壊の
ひまがはらになっている。

YAMAPETE 2021.4.10
登山口: 白髪山-
ワラ原- 三嶺-
カヤハゲ- 白髪山
平和丸- 332と葦生-
みやびの丘- 登山口
13.4km 6.40

No.120
2022-1-20